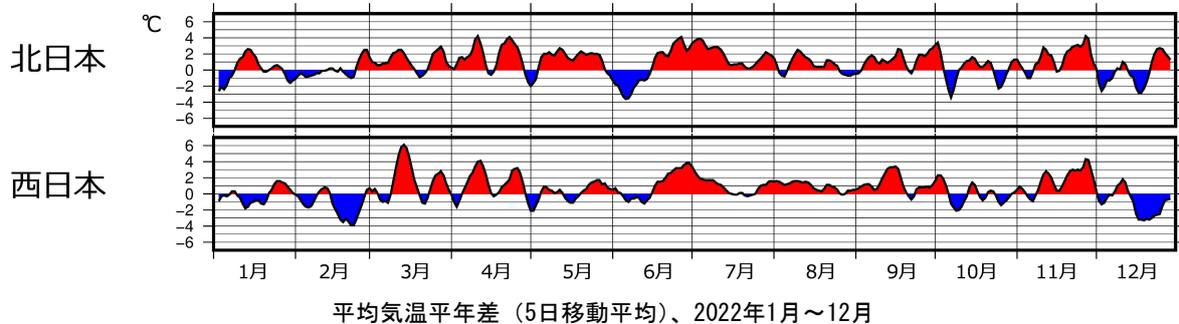


2022年（令和4年）の日本の天候

2022年（令和4年）の日本の天候の特徴：

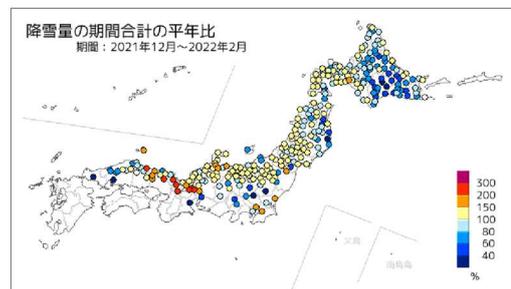
○年平均気温は全国的に高く、特に北日本でかなり高かった

春から秋にかけて全国的に気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温は全国的に高く、特に北日本でかなり高かった。夏の平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で暖かい空気に覆われやすかったためかなり高く、西日本では平年差+0.9℃と、1946年の統計開始以降1位タイの高温を記録した。盛夏期と比べても強い太平洋高気圧に覆われた6月下旬から7月上旬の高温が顕著で、6月下旬には東・西日本、7月上旬には北日本で、1946年の統計開始以降、当該旬として1位の記録的な高温となった。また、秋の平均気温は全国的にかなり高く、特に11月は寒気の影響が弱かったため、東日本の11月の月平均気温平年差は+1.7℃と、1946年の統計開始以降最も高かった。



○2021年12月～2022年2月は東・西日本では低温となり、日本海側を中心に大雪となった

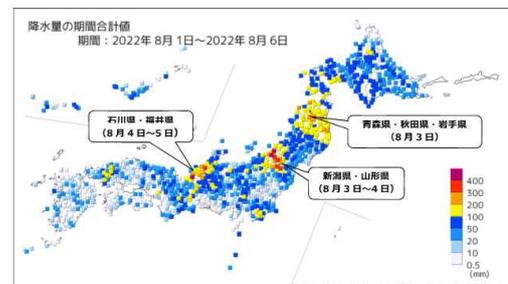
2021年12月下旬以降、日本付近に強い寒気が流れ込むことが多かったため、北日本から西日本の日本海側を中心にしばしば大雪となった。冬の降雪量は日本海側を中心に平年値を上回り、特に西日本では平年値の2倍を超えた所があった。冬の最深積雪は新潟県津南で419cmを記録するなど、全国331地点中12地点で記録を更新した。気温は12月下旬以降、東・西日本を中心に平年を下回る傾向が続き、東・西日本では寒冬となった。



降雪量平年比（%）（2021年12月～2022年2月）
白丸は平年比が100%であることを表す。冬の値が0cmまたは平年値が3cm未満の地点は描画していない。

○8月は北・東日本で不順な天候となった

8月上旬から中旬を中心に梅雨前線や湿った空気の影響を受け、北・東日本では曇りや雨の日が続く不順な天候となり、多雨寡照となった。東北北部・南部と北陸地方では梅雨明けが特定できなかった。8月上旬に梅雨前線の活動が活発となったため、北日本と東日本日本海側を中心に線状降水帯が発生するなど記録的な大雨となり、山形県と新潟県を対象に大雨特別警報を発表した。



降水量の期間合計値（2022年8月1日～8月6日）
と記録的大雨となった地域

1 概況

2022年は、春から秋にかけて気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温は全国的に高く、特に北日本でかなり高かった。春の平均気温は北・西日本で、夏は東・西日本と沖縄・奄美で、秋は全国的にかなり高かった。特に西日本では夏の平均気温が1946年の統計開始以降、1位タイの高温となった。

北日本から西日本にかけては、春と秋を中心に高気圧に覆われやすく、晴れの日が多かった。このため、年間日照時間は北・西日本日本海側でかなり多く、北・東・西日本太平洋側と東日本日本海側で多かった。また、年降水量は西日本日本海側でかなり少なかった。

冬（2021年12月～2022年2月）は、12月下旬以降に強い寒気の影響を受けたため、東・西日本では冬の平均気温は低く、低気圧の影響も受けやすかった北日本日本海側の冬の降水量はかなり多かった。

夏から秋にかけては、前線や台風第14号、台風第15号などの影響で北日本から西日本で記録的な大雨となった所があった。北日本では、8月を中心に低気圧や梅雨前線などの影響を繰り返し受けたため、夏の降水量は日本海側・太平洋側ともかなり多かった。東北北部・南部と北陸地方では、8月の上・中旬に梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かったため、梅雨明けが特定できなかった。

12月中旬から下旬にかけては強い寒気が南下し、日本海側を中心に太平洋側の一部でも大雪となった。

沖縄・奄美では、5月から6月にかけてと秋に台風、前線や湿った空気の影響を受けやすく曇りや雨の日が多かったため、年降水量はかなり多く、年間日照時間はかなり少なかった。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本と沖縄・奄美で高かった。釧路、帯広（以上、北海道）等の4地点で年平均気温の高い方からの1位の値を更新し、網走、札幌（以上、北海道）等の6地点で1位タイの値を記録した。

(2) 降水量

年降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側と北日本太平洋側で多かった。深浦（青森県）、宮古島、西表島（以上、沖縄県）の3地点で年降水量の多い方からの1位の値を更新した。一方、西日本日本海側でかなり少なく、西日本太平洋側で少なかった。高松（香川県）で年降水量の少ない方からの1位の値を更新した。東日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、北・西日本日本海側でかなり多く、北・東・西日本太平洋側と東日本日本海側で多かった。大阪（大阪府）、神戸（兵庫県）、佐世保（長崎県）の3地点で年間日照時間の多い方からの1位の値を更新した。一方、沖縄・奄美でかなり少なかった。

(4) 地域平均平年差（比）の1位の値の更新状況

1位の値を更新した地方はなかった。

地域平均平年差（比）と階級（2022年）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	0.8 (+)*	107 (+) 日 108 (+) 太 106 (+)	107 (+)* 日 109 (+)* 太 105 (+)	北海道	0.9 (+)*	110 (+) 日 105 (+) オ 110 (+) 太 117 (+)	107 (+)* 日 109 (+)* オ 101 (O) 太 107 (+)
東日本	0.5 (+)	100 (O) 日 102 (O) 太 100 (O)	105 (+) 日 108 (+) 太 104 (+)	東北	0.6 (+)	104 (O) 日 114 (+)* 太 97 (O)	106 (+) 日 109 (+)* 太 104 (+)
西日本	0.5 (+)	83 (-) 日 80 (-)* 太 86 (-)	108 (+) 日 110 (+)* 太 106 (+)	関東甲信	0.5 (+)	96 (O)	104 (O)
沖縄・奄美	0.4 (+)	143 (+)*	92 (-)*	北陸	0.6 (+)	102 (O)	108 (+)
				東海	0.6 (+)	106 (O)	104 (+)
				近畿	0.6 (+)	82 (-) 日 81 (-)* 太 83 (-)	109 (+) 日 109 (+) 太 109 (+)*
				中国	0.5 (+)	76 (-)* 陰 76 (-)* 陽 76 (-)	109 (+)* 陰 110 (+)* 陽 109 (+)*
				四国	0.4 (+)	78 (-)	106 (+)
				九州北部	0.6 (+)	81 (-)	110 (+)*
				九州南部 ・奄美	0.4 (+)	104 (O)	98 (O)
				本	0.4 (+)	本 102 (O)	本 100 (O)
				奄	0.4 (+)	奄 112 (+)	奄 90 (-)*
				沖縄	0.4 (+)	152 (+)*	93 (-)

階級表示 - :低い(少ない) 0:平年並 +:高い(多い)

*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側

陰:山陰 本:本土(九州南部)

オ:オホーツク海側

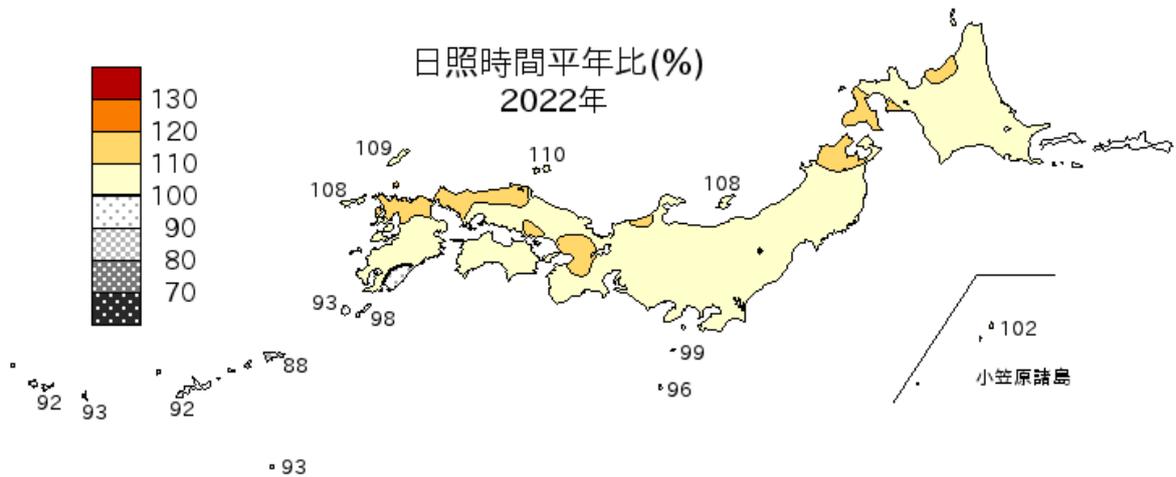
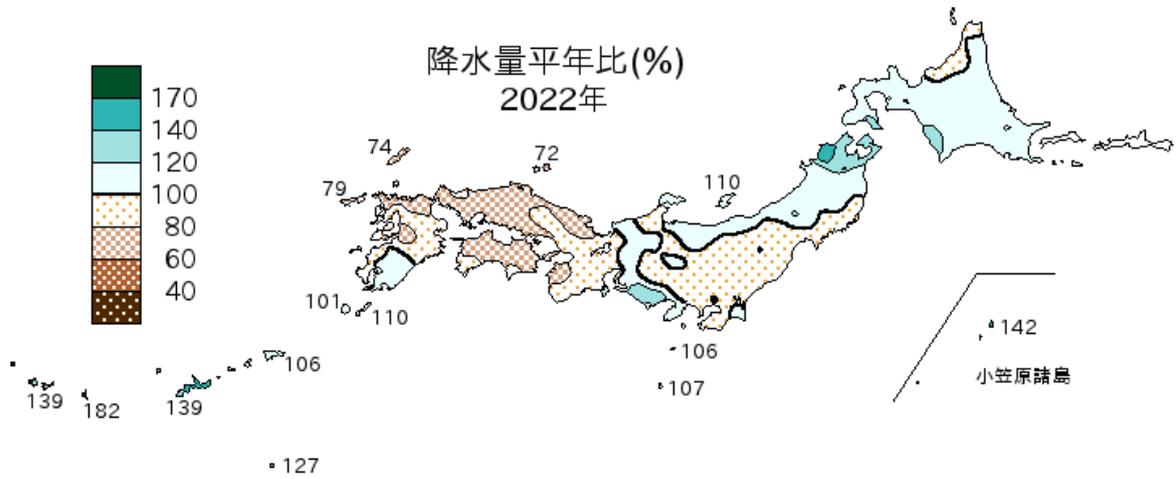
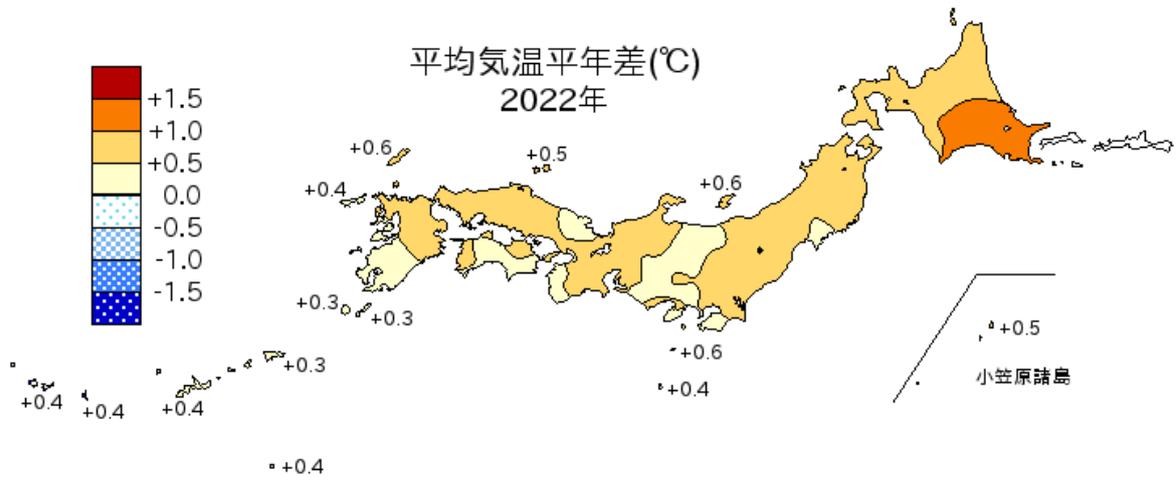
陽:山陽 奄:奄美

太:太平洋側

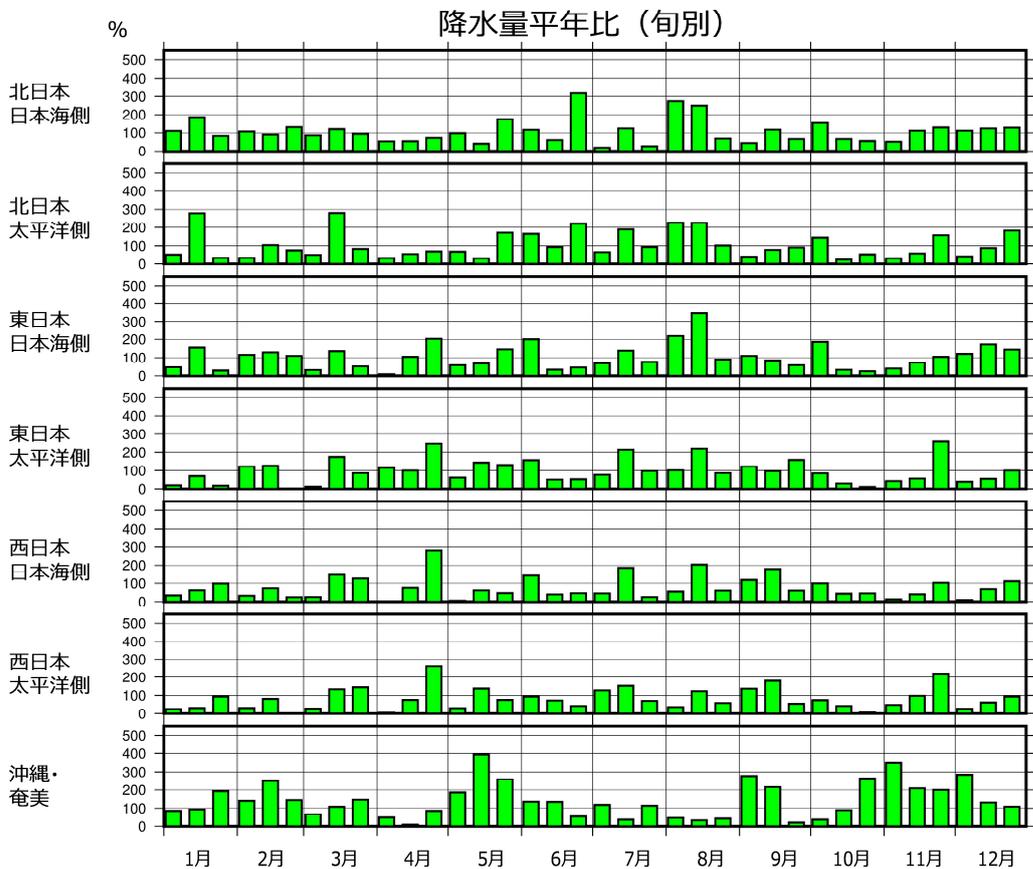
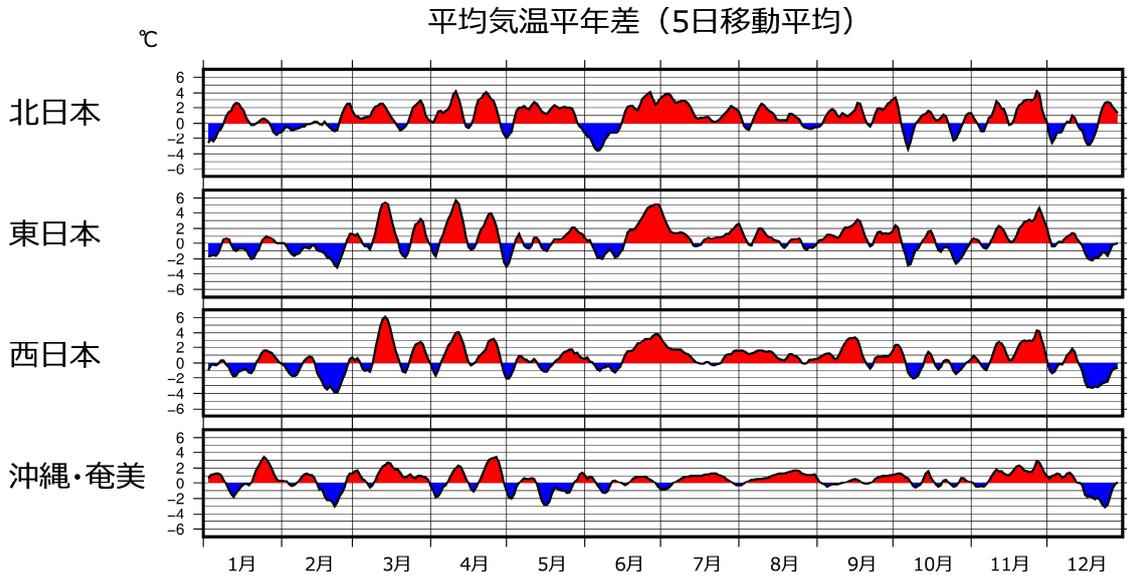
(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991~2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

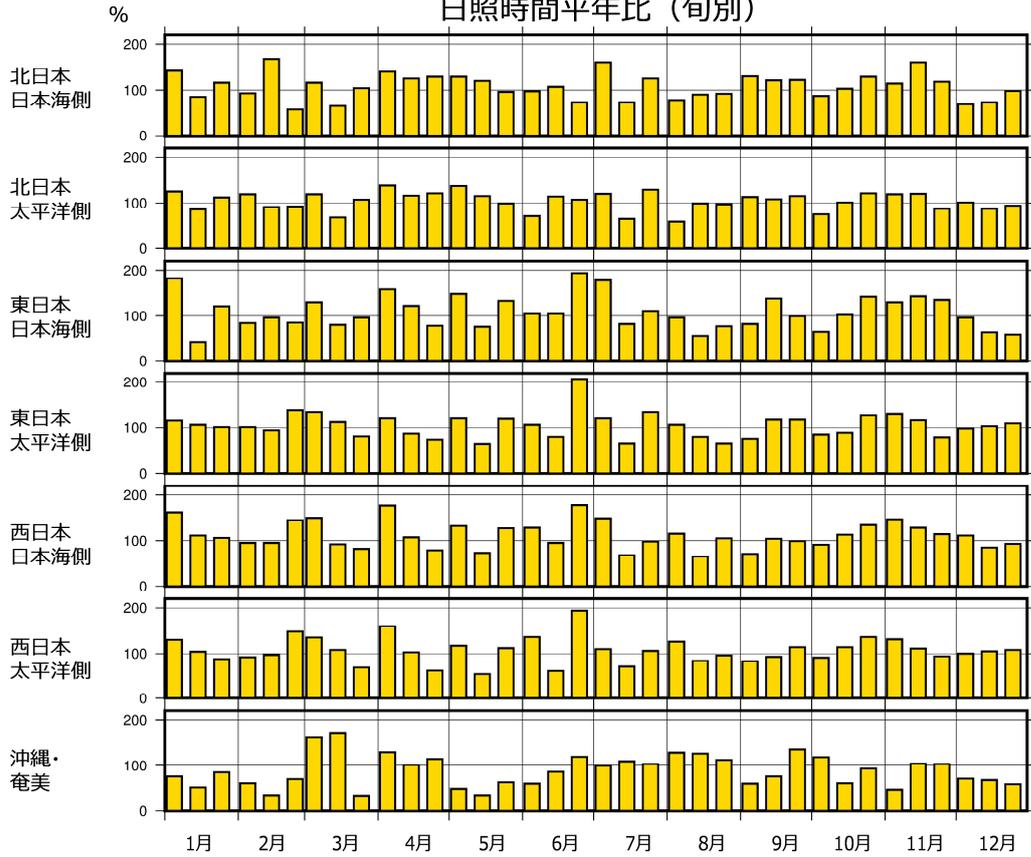
平年差（比）図（2022年）



地域平均平年差（比）の経過（2022年）



日照時間平年比（旬別）



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）を更新した地点数と地域

- ・全国 153 地点（降雪の深さ、最深積雪は 105 地点）の気象台等の統計値の中で、観測史上 1 位となった地点数を記載した。
- ・値は 1 位を更新した地点数。タイ記録は含まない。タイ記録がある場合には「値々」として横に併記した。
- ・地域は観測史上 1 位（タイ記録を含む）となった地域を記載した（最深積雪を除く）。

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	高い方から	低い方から	多い方から	少ない方から	多い方から	少ない方から	多い方から	大きい方から
2021 年 12 月			3		2		1	2
1 月				1	2		1	
2 月				9 西日				
冬 (12 月~2 月)			1	7	1			
3 月						1		
4 月	6		3	7	2、1 々			
5 月			6 沖奄	4		3 沖奄		
春	5、8 々				4			
6 月	9、4 々		2					
7 月	5、3 々		1					
8 月	4、2 々		6	1	1			
夏	7、8 々 西		7					
9 月	1 々				1			
10 月								
11 月	18、20 々 東		2		14 西日			
秋	2、11 々		3		4			
12 月			1			1	2	1
年	4、6 々		3	1	3			

平均気温の地域表示

北：北日本
東：東日本
西：西日本
沖奄：沖縄・奄美

降水量、日照時間、降雪の深さの地域表示

北日：北日本日本海側 北太：北日本太平洋側 北：北日、北太ともに1位
東日：東日本日本海側 東太：東日本太平洋側 東：東日、東太ともに1位
西日：西日本日本海側 西太：西日本太平洋側 西：西日、西太ともに1位
沖奄：沖縄・奄美

各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨の時期の降水量 平年比(注2)
沖 縄	5月4日ごろ(-)	5月10日ごろ	6月20日ごろ(-)	6月21日ごろ	214%(+)*
奄 美	5月5日ごろ(-)	5月12日ごろ	6月22日ごろ(-)*	6月29日ごろ	155%(+)*
九州南部	6月10日ごろ(+)*	5月30日ごろ	7月22日ごろ(+)	7月15日ごろ	106%(0)
九州北部	6月11日ごろ(+)	6月4日ごろ	7月22日ごろ(+)	7月19日ごろ	68%(-)
四 国	6月11日ごろ(+)	6月5日ごろ	7月22日ごろ(+)	7月17日ごろ	87%(0)
中 国	6月11日ごろ(+)	6月6日ごろ	7月26日ごろ(+)	7月19日ごろ	77%(-)
近 畿	6月14日ごろ(+)*	6月6日ごろ	7月23日ごろ(+)	7月19日ごろ	85%(0)
東 海	6月14日ごろ(+)*	6月6日ごろ	7月23日ごろ(0)	7月19日ごろ	116%(+)
関東甲信	6月6日ごろ(0)	6月7日ごろ	7月23日ごろ(+)	7月19日ごろ	90%(0)
北 陸	6月6日ごろ(-)	6月11日ごろ	特定できない	7月23日ごろ	83%(-)
東北南部	6月6日ごろ(-)	6月12日ごろ	特定できない	7月24日ごろ	104%(0)
東北北部	6月6日ごろ(-)	6月15日ごろ	特定できない	7月28日ごろ	101%(0)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月、沖縄と奄美は5~6月)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)*: かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%	33%	10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

3 季節別の天候経過

冬（2021年12月～2022年2月）：

- 冬の平均気温は東・西日本で低かった
- 北日本日本海側の冬の降水量はかなり多く、降雪量は多かった一方、西日本日本海側と西日本太平洋側の冬の降水量はかなり少なかった
- 冬の日照時間は北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側で多かった一方、沖縄・奄美で少なかった

12月後半から、大気上層を流れる高緯度帯の偏西風（寒帯前線ジェット気流）と中緯度帯の偏西風（亜熱帯ジェット気流）がともに日本付近で南に蛇行し、下層では冬型の気圧配置が強まった。このため、日本列島に強い寒気が流れ込みやすかった。冬型の気圧配置は東・西日本を中心に総じて強かったが、本州付近を高気圧がたびたび通過して、強弱を繰り返した。気温は、12月下旬以降に強い寒気の影響を受けた東・西日本で低くなった。

北日本では、12月下旬以降、冬型の気圧配置が強まることも多く、日本海側を中心に記録的な大雪となった所もあったが、低気圧や高気圧が通過して冬型の気圧配置が解消する時期もあり、北海道を中心に晴れた日があった。このため、北日本日本海側は降水量がかなり多い一方で、北日本日本海側と北日本太平洋側の日照時間は多くなった。

東・西日本は、12月下旬以降、断続的に強い冬型の気圧配置となり、北陸地方から山陰地方にかけての日本海側を中心に記録的な大雪となった所もあった。西日本は、平年に比べ低気圧の影響を受けにくく、日本海側・太平洋側ともに、降水量はかなり少なく、日照時間は多くなった。東日本太平洋側でも日照時間は多くなったが、2月に本州南岸を進む低気圧の影響を受けやすい時期があったため、降水量は平年並だった。

沖縄・奄美では、12月下旬以降寒気の影響で雲が広がりやすく、1月下旬から2月にかけては低気圧や前線の影響を受けやすかったため、降水量は多く、日照時間は少なかった。

日本海側の冬の降雪量は、12月下旬以降の冬型の気圧配置の強まりのほか、低気圧の影響も受けやすかった北日本日本海側で多かった。東・西日本日本海側では平年並だったが、たびたび強い寒気が流入したため、新潟県津南で2月24日に419cmの積雪を記録したほか、全国331地点中12地点で最深積雪の記録を更新するなど、北・東・西日本の日本海側を中心に、記録的な大雪となった所もあった。

平均気温：東・西日本で低かった。北日本と沖縄・奄美では平年並だった。

降水量：北日本日本海側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方、西日本日本海側と西日本太平洋側でかなり少なかった。北・東日本太平洋側と東日本日本海側で平年並だった。

日照時間：北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。東日本日本海側では平年並だった。

春（3月～5月）：

- 春の平均気温は全国的に高く、特に北・西日本でかなり高かった
- 春の降水量は沖縄・奄美でかなり多かった
- 春の日照時間は北・東日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多かった

北・東・西日本では、3月は北日本付近を繰り返し低気圧が通過した一方、東・西日本は移動性高気圧に覆われやすかった。4月から5月にかけては本州南岸付近を低気圧や前線が通過し

て東・西日本太平洋側を中心に曇りや雨の日が多い時期があったが、北日本を中心に高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かった。このため、春の降水量は北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側で少なかった一方、東日本太平洋側で多かった。また、日照時間は北・東日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側で多かった。

沖縄・奄美では、3月から4月にかけては高気圧に覆われやすく、気圧の谷や湿った空気の影響を受けにくかったが、5月は梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が続いた。このため、春の降水量はかなり多く、日照時間は少なかった。また、石垣島での精密な日射放射観測によると、日積算直達日射量の5月の月平均値は平年値(10.66MJ/m²)の41%程度(4.33MJ/m²)となり、統計に使用している1981年以降、5月として最小だった。

気温は、3月から4月にかけて全国的に寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込みやすかったことに加え、晴れて気温が上がった日もあり、平年を上回る日が多かった。また、5月は北日本を中心に暖かい空気が流れ込みやすかった。春の平均気温は全国的に高く、特に北・西日本でかなり高かった。

平均気温：北・西日本でかなり高く、東日本と沖縄・奄美で高かった。

降水量：北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美でかなり多く、東日本太平洋側で多かった。西日本太平洋側では平年並だった。

日照時間：北・東日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。東・西日本太平洋側では平年並だった。

夏(6月～8月)：

- 夏の平均気温は全国的に高く、特に東・西日本と沖縄・奄美でかなり高かった
- 夏の降水量は北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多かった
- 東北北部・南部と北陸地方では梅雨明けが特定できなかった

夏の平均気温は全国的に高かった。特に、東・西日本と沖縄・奄美では夏を通して暖かい空気に覆われやすかったため平均気温がかなり高く、西日本では平年差+0.9℃となり、1946年の統計開始以降、1位タイの高温を記録した。盛夏期と比べても強い太平洋高気圧に覆われた6月下旬から7月上旬の高温が顕著で、6月下旬には東・西日本、7月上旬には北日本で、1946年の統計開始以降、当該旬として1位の記録的な高温となった。全国のアメダス地点で6月以降に観測された猛暑日地点数の積算でも、夏の平均気温が特に高かった年(2010年、2013年、2018年)と比べ、6月下旬から7月初めに猛暑日地点数が大きく増加した。また、7月1日には全国の気象官署とアメダス地点のうち6地点で40℃以上の日最高気温を観測した。

夏の降水量は、8月を中心に6月下旬と7月中旬にも低気圧や梅雨前線などの影響を繰り返し受けた北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多かった。8月の上・中旬に梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった東北北部・南部と北陸地方では、梅雨明けが特定できなかった。一方、太平洋高気圧に覆われやすく6月に梅雨前線の影響が弱かった西日本太平洋側では、夏の降水量が少なく、日照時間が多かった。

沖縄・奄美では、特に8月に太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、夏の日照時間が多かった。

平均気温：東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。

降水量：北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、東日本日本海側と東日本太平洋側で多かった。一方、西日本日本海側と西日本太平洋側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

日照時間：北日本太平洋側で少なかった。一方、西日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。北・東・西日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

秋（9月～11月）：

- 秋の平均気温は全国的にかなり高かった
- 秋の降水量は北日本太平洋側でかなり少なかった一方、沖縄・奄美でかなり多かった
- 秋の日照時間は北・東・西日本日本海側でかなり多かった一方、沖縄・奄美でかなり少なかった

北・東・西日本では秋の後半を中心に西高東低の冬型の気圧配置が現れにくく寒気の影響が弱かったことや、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、秋の日照時間は北・東・西日本日本海側でかなり多く、北・東・西日本太平洋側で多かった。また、秋の降水量は、高気圧に覆われる日が多かったことや低気圧や前線の影響を受けにくかったことから、北日本太平洋側でかなり少なかった。東・西日本では、9月は台風第11号、台風第14号、台風第15号の影響で記録的な大雨や大荒れとなった所があった。

沖縄・奄美では、9月と10月に台風の影響をたびたび受け、また10月中旬以降は前線や湿った空気の影響を受けやすく曇りや雨の日が多かったため、秋の降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なかった。

気温は、9月は北・東・西日本を中心に暖かい空気に覆われやすく、残暑が厳しかった。10月は強い寒気が流れ込んだ時期があったため、東日本で低温となり、全国的に気温の変動が大きかった。11月は寒気の影響が弱く、低気圧の前面で南から暖かい空気が流れ込んだ時期もあったため全国的に高温となった。このため、秋の平均気温は全国的にかなり高かった。

平均気温：全国的にかなり高かった。

降水量：沖縄・奄美でかなり多かった。一方、北日本太平洋側でかなり少なく、北・東日本日本海側で少なかった。東・西日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。

日照時間：北・東・西日本日本海側でかなり多く、北・東・西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なかった。

4 全国気候表 2022年

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
札幌	10.2	(+1.0)	+*	1154.0	(101)	○	137	1847.8	(108)	+
稚内	8.0	(+1.0)	+*	1071.0	(97)	○	141	1502.1	(104)	+
北見枝幸	7.2	(+0.9)	+*	1242.5	(107)	○	160	1536.0	(102)	○
旭川	8.2	(+1.0)	+*	1277.5	(116)	+	161	1691.8	(108)	+*
留萌	8.9	(+0.9)	+*	993.0	(86)	-	151	1676.0	(111)	+*
羽幌	8.9	(+0.9)	+*	1219.0	(91)	-	159	1703.9	(110)	+*
岩見沢	8.8	(+0.9)	+*	1442.0	(115)	+	150	1839.1	(110)	+*
倶知安	8.0	(+0.8)	+*	1714.0	(112)	+	181	1577.2	(109)	+*
小樽	9.6	(+0.8)	+*	1337.5	(104)	○	164	1717.6	(108)	+
寿都	9.7	(+0.8)	+*	1386.5	(111)	+	166	1518.5	(109)	+*
網走	7.9	(+1.0)	+*	945.0	(112)	+	121	1849.5	(100)	○
紋別	7.7	(+1.0)	+*	960.0	(112)	+	123	1681.6	(100)	○
雄武	7.0	(+1.0)	+*	994.0	(108)	+	138	1674.4	(102)	○
釧路	7.9	(+1.2)	+*	1287.5	(119)	+	95	2042.7	(104)	+
根室	7.8	(+1.2)	+*	1252.0	(120)	+	103	1879.8	(102)	○
帯広	8.3	(+1.1)	+*	1011.5	(110)	+	93	2088.7	(103)	○
広尾	8.4	(+1.2)	+*	1843.5	(108)	+	127	1958.1	(108)	+
室蘭	9.8	(+0.9)	+*	1280.0	(108)	+	119	1923.9	(111)	+*
苫小牧	8.8	(+0.9)	+*	1438.0	(116)	+	103	1890.4	(110)	+*
浦河	9.0	(+0.8)	+*	1449.5	(130)	+*	115	1998.8	(109)	+
函館	10.2	(+0.8)	+*	1440.5	(121)	+*	135	1927.7	(110)	+*
江差	11.0	(+0.7)	+*	1435.0	(117)	+	154	1627.0	(114)	+*
青森	11.3	(+0.6)	+	1721.5	(127)	+*	158	1772.1	(112)	+*
深浦	11.4	(+0.5)	+	2236.0	(146)	+*	172	1604.0	(112)	+*
むつ	10.5	(+0.7)	+*	1622.5	(120)	+	148	1714.0	(109)	+
八戸	11.2	(+0.7)	+	1200.5	(115)	+	107	1972.0	(107)	+*
秋田	12.6	(+0.5)	+	1862.0	(107)	○	166	1654.3	(108)	+
盛岡	11.2	(+0.6)	+	1402.5	(110)	○	138	1773.6	(105)	+
大船渡	12.2	(+0.5)	+	1415.0	(91)	-	99	1771.6	(102)	○
宮古	11.5	(+0.7)	+*	1202.0	(88)	-	92	1935.0	(103)	+
仙台	13.5	(+0.7)	+	1224.5	(96)	○	100	1951.9	(106)	+
石巻	12.3	(+0.4)	+	1068.5	(98)	○	88	2005.9	(103)	+
山形	12.6	(+0.5)	+	1177.5	(98)	○	143	1743.9	(108)	+
新庄	11.5	(+0.5)	+	2421.5	(121)	+*	197	1432.2	(108)	+
酒田	13.6	(+0.6)	+*	2113.5	(106)	+	197	1657.0	(108)	+
福島	13.9	(+0.5)	+	1033.0	(86)	-	102	1807.5	(103)	○
若松	12.7	(+0.7)	+	1121.5	(90)	-	151	1743.0	(107)	+
白河	12.4	(+0.5)	+	1227.5	(84)	-	116	1808.8	(101)	○
小名浜	14.4	(+0.6)	+	1176.5	(82)	-*	109	2127.6	(103)	○
水戸	14.8	(+0.7)	+	1202.5	(88)	-	96	2159.1	(108)	+
館野(つくば)	14.8	(+0.5)	+	1317.0	(99)	○	103	2090.2	(104)	○
宇都宮	14.9	(+0.6)	+	1303.5]	(85)]	-	98]	2070.8	(106)	+
				(統計月数:11)	(統計月数:11)					
日光	7.7	(+0.5)	+	1830.5	(83)	-*	132	1791.8	(102)	○

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	15.7	(+0.7) +*	1147.5	(92) ○	101	2213.6	(103) ○
熊谷	16.0	(+0.6) +	1251.0	(96) ○	92	2213.8	(105) +
秩父	14.0	(+0.5) +	1151.0	(84) -	102	2054.5	(104) +
東京	16.4	(+0.6) +	1615.5	(101) ○	109	2028.9	(105) +
大島	17.0	(+0.6) +	3297.0	(115) +	134	1880.8	(102) ○
三宅島	18.6	(+0.6) +	3192.5	(106) ○	156	1669.1	(99) ○
八丈島	18.4	(+0.4) +	3524.0	(107) +	178	1381.3	(96) -
父島	23.9	(+0.5) +	1841.0	(142) +*	135	2078.2	(102) +
千葉	16.7	(+0.5) +	1427.5	(98) ○	107	2025.1	(104) ○
銚子	16.4	(+0.6) +	1874.0	(109) +	121	2044.2	(101) ○
館山	16.7	(+0.5) +	1694.0	(92) -	108	2084.5	(105) +
勝浦	16.3	(+0.3) +	1936.0	(97) ○	115	2067.5	(106) +
横浜	16.7	(+0.5) +	1657.5	(96) ○	112	2111.1	(105) +
長野	12.7	(+0.4) +	1022.5	(106) +	112	2041.3	(104) +
松本	12.7	(+0.5) +	943.5	(90) -	98	2248.3	(105) +
諏訪	11.8	(+0.4) +	1423.0	(109) ○	108	2236.0	(103) +
軽井沢	8.8	(+0.2) ○	1206.5	(97) ○	118	2101.2	(104) +
飯田	13.4	(+0.3) +	1478.0	(88) -	117	2158.2	(104) +
甲府	15.7	(+0.6) +	1019.5	(88) -	98	2298.1	(103) ○
河口湖	11.3	(+0.3) +	1493.5	(94) ○	100	2071.3	(103) ○
静岡	17.4	(+0.5) +	2967.0	(127) +	112	2239.7	(104) +
浜松	17.2	(+0.4) +	2392.5	(130) +*	106	2345.1	(105) +
御前崎	17.3	(+0.6) +	2424.5	(116) +	126	2383.9	(105) +
三島	16.9	(+0.6) +	1896.0	(101) ○	113	2099.5	(105) +
石廊崎	17.3	(+0.4) +	2125.0	(121) +	123	2238.2	(104) ○
網代	16.7	(+0.4) +	2019.0	(100) ○	119	1864.6	(102) ○
名古屋	16.9	(+0.7) +	1578.0	(100) ○	104	2256.3	(105) +
伊良湖	17.0	(+0.6) +	1827.0	(111) +	110	2273.2	(102) +
岐阜	16.7	(+0.5) +	1978.5	(106) +	115	2180.3	(103) +
高山	12.0	(+0.6) +	1791.0	(101) ○	147	1709.4	(104) +
津	16.9	(+0.6) +	1408.0	(87) -	106	2194.5	(104) +
上野	15.2	(+0.6) +	1229.5	(85) -	94	1967.7	(109) +*
尾鷲	17.0	(+0.6) +	3782.5	(95) ○	123	2053.5	(104) +
四日市	15.8	(+0.6) +	1758.5	(97) ○	108	2006.0	(101) ○
新潟	14.5	(+0.6) +	2002.0	(108) +	171	1751.7	(107) +
相川	14.7	(+0.6) +*	1734.5	(110) +	167	1761.5	(108) +
高田	14.3	(+0.4) +	2892.5	(102) ○	193	1667.3	(105) ○
富山	15.1	(+0.6) +	2401.5	(101) ○	169	1775.5	(108) +
伏木	14.7	(+0.5) +	2234.5	(98) ○	169	1796.7	(109) +
金沢	15.7	(+0.7) +	2223.5	(93) -	160	1902.7	(111) +*
輪島	14.3	(+0.5) +	2264.0	(105) ○	179	1699.9	(108) +

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.4	(+0.6) +	2467.0	(107) ○	167	1826.4	(110) +*
	敦賀	16.2	(+0.6) +	2066.5	(94) ○	155	1702.9
彦根	15.7	(+0.7) +	1426.0	(89) -	120	1996.4	(107) +
京都	16.8	(+0.6) +	1459.5	(96) ○	85	2004.3	(112) +*
	舞鶴	15.2	(+0.4) +	1435.5	(74) -*	144	1711.7
大阪	17.5	(+0.4) +	1058.0	(79) -	92	2319.6	(113) +*
神戸	17.5	(+0.5) +	1160.5	(91) -	83	2310.0	(111) +*
	豊岡	15.1	(+0.5) +	1654.0	(80) -*	153	1621.0
姫路	16.1	(+0.5) +	1004.0	(80) -	78	2228.1	(110) +*
洲本	16.5	(+0.8) +*	976.5	(63) -*	90	2133.9	(103) ○
奈良	16.2	(+1.0) +*	1216.0	(89) -	94	2043.1	(112) +*
和歌山	17.3	(+0.4) +	1006.5	(71) -	88	2260.4	(108) +
	潮岬	17.8	(+0.3) +	2530.0	(95) ○	115	2349.5
岡山	16.4	(+0.6) +	839.5	(73) -	78	2251.8	(111) +*
	津山	14.5	(+0.5) +	1202.0	(85) -	90	1945.8
広島	17.1	(+0.6) +	1212.5	(77) -	69	2181.8	(107) +
	呉	17.0	(+0.5) +	1153.0	(81) -	66	2229.1
福山	16.2	(+0.5) +	773.5	(66) -*	74	2240.4	(108) +
松江	15.8	(+0.6) +	1300.0	(73) -*	130	1896.4	(111) +*
	西郷	15.0	(+0.5) +	1311.5	(72) -*	122	1892.5
浜田	16.3	(+0.6) +	1220.5	(74) -*	101	1991.6	(113) +*
鳥取	15.7	(+0.5) +	1534.5	(79) -*	149	1793.1	(107) +
	米子	15.9	(+0.5) +	1362.0	(78) -*	130	1907.5
境	16.1	(+0.6) +	1460.5	(77) -*	136	1862.7	(109) +*
徳島	17.2	(+0.4) +	1150.5	(71) -	93	2278.0	(108) +
高松	17.3	(+0.6) +	667.5	(58) -*	73	2227.7	(109) +
	多度津	17.1	(+0.6) +	788.5	(71) -*	67	2306.6
松山	17.3	(+0.5) +	1030.0	(73) -*	76	2153.4	(107) +
	宇和島	17.5	(+0.5) +	1362.5	(79) -	84	2111.9
高知	17.7	(+0.4) +	2025.5	(76) -	106	2270.8	(105) +
	宿毛	17.8	(+0.6) +	1800.0	(86) -	93	2188.3
清水	18.6	(+0.2) +	2417.0	(94) ○	102	2211.9	(101) ○
室戸岬	17.1	(+0.2) +	2366.5	(96) ○	103	2287.3	(105) +
山口	16.3	(+0.7) +*	1375.0	(71) -*	83	2078.1	(112) +*
	下関	17.5	(+0.5) +	1332.0	(78) -*	82	2113.2
萩	16.3	(+0.5) +	1399.5	(83) -	83	1997.9	(115) +*
福岡	18.0	(+0.7) +*	1232.5	(73) -*	93	2160.3	(114) +*
	飯塚	16.6	(+0.6) +*	1257.0	(69) -*	84	2088.8

地名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.4	(+0.6) +	1452.5	(84) -	85	2068.9	(104) +
日田	16.4	(+0.6) +*	1675.0	(89) -	86	1946.1	(107) +
長崎	17.8	(+0.4) +	1742.5	(92) ○	95	2015.1	(108) +*
厳原	16.6	(+0.6) +	1711.5	(74) -*	74	2032.1	(109) +
平戸	16.9	(+0.6) +	1533.5	(70) -	87	2013.8	(113) +*
佐世保	17.8	(+0.6) +	1581.0	(79) -	88	2173.9	(113) +*
雲仙岳	13.3	(+0.3) +	2550.0	(87) -	105	1591.3	(111) +*
福江	17.4	(+0.4) +	1847.0	(79) -	103	1884.9	(108) +
佐賀	17.7	(+0.8) +*	1664.5	(85) -	93	2211.5	(112) +*
熊本	17.7	(+0.5) +	1502.0	(75) -*	91	2154.8	(108) +
人吉	16.3	(+0.5) +	2569.0	(101) ○	111	1874.2	(103) +
牛深	17.8]	()	1883.0	(89) ○	108	2106.8	(108) +
	(統計月数:11)						
宮崎	18.2	(+0.5) +	2865.0	(109) +	110	2106.8	(99) ○
延岡	17.4	(+0.5) +*	2311.0	(95) ○	106	2153.7	(101) ○
都城	17.3	(+0.5) +	3202.5	(119) +	116	1926.0	(100) ○
油津	18.6	(+0.2) +	2825.5	(102) ○	117	1921.3	(98) ○
鹿児島	19.3	(+0.5) +	2416.0	(99) ○	114	2003.2	(103) +
阿久根	17.8	(+0.3) +	2100.0	(94) ○	111	2092.0	(107) +
枕崎	18.6	(+0.3) +	2170.0	(93) ○	115	1969.6	(103) ○
屋久島	19.9	(+0.3) +	4697.5	(101) ○	166	1402.2	(93) -
種子島	20.1	(+0.3) +	2780.0	(110) +	140	1779.8	(98) ○
名瀬	22.1	(+0.3) +	3121.5	(106) +	195	1175.9	(88) -*
沖永良部	23.0	(+0.4) +	2171.0	(117) +	141	1689.3	(91) -*
那覇	23.7	(+0.4) +	2996.5	(139) +*	162	1588.8	(92) -*
名護	23.2	(+0.4) +	3270.5	(154) +*	176	1587.4	(91) -*
久米島	23.7	(+0.5) +	3091.0	(138) +*	159	1617.6	(94) -
宮古島	24.2	(+0.4) +	3768.0	(182) +*	177	1622.4	(93) -
石垣島	24.9	(+0.4) +	2910.5	(139) +*	166	1702.4	(92) -*
西表島	24.4	(+0.5) +	3642.0	(163) +*	186	1592.4	(92) -*
与那国島	24.3	(+0.3) +	3439.5	(148) +*	182	1480.4	(94) ○
南大東島	23.9	(+0.4) +	2083.0	(127) +	128	1966.3	(93) -

(注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

3. 値の横に] がある場合は、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることを留意して使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

5 順位更新表 2022年

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	羽幌	8.9 =	+0.9	8.9 (2021)	1921	8.0
	留萌	8.9 =	+0.9	8.9 (2021)	1943	8.0
	網走	7.9 =	+1.0	7.9 (1990)	1889	6.9
	札幌	10.2 =	+1.0	10.2 (2021)	1877	9.2
	帯広	8.3	+1.1	8.2 (2021)	1892	7.2
	釧路	7.9	+1.2	7.7 (2015)	1910	6.7
	根室	7.8	+1.2	7.6 (2015)	1879	6.6
	倶知安	8.0 =	+0.8	8.0 (2021)	1944	7.2
	紋別	7.7 =	+1.0	7.7 (1990)	1956	6.7
広尾	8.4	+1.2	8.3 (2021)	1958	7.2	
2	稚内	8.0 =	+1.0	8.2 (1990)	1938	7.0
	北見枝幸	7.2 =	+0.9	7.5 (1990)	1942	6.3
	雄武	7.0 =	+1.0	7.1 (1990)	1942	6.0
	旭川	8.2 =	+1.0	8.3 (2021)	1888	7.2
	小樽	9.6 =	+0.8	9.8 (1990)	1943	8.8
	岩見沢	8.8 =	+0.9	9.0 (1990)	1946	7.9
	寿都	9.7	+0.8	9.9 (1990)	1884	8.9
	室蘭	9.8	+0.9	10.0 (1990)	1923	8.9
	苫小牧	8.8 =	+0.9	9.0 (1990)	1942	7.9
	浦河	9.0 =	+0.8	9.2 (1990)	1927	8.2
	大分	17.4 =	+0.6	17.6 (2016)	1887	16.8
3	江差	11.0	+0.7	11.2 (1990)	1941	10.3
	輪島	14.3 =	+0.5	14.6 (2020)	1929	13.8
	宇都宮	14.9 =	+0.6	15.2 (2018)	1890	14.3
	前橋	15.7 =	+0.7	16.1 (2018)	1896	15.0
	巖原	16.6 =	+0.6	16.9 (2021)	1886	16.0
	延岡	17.4 =	+0.5	17.7 (2016)	1961	16.9

年平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	深浦	2236.0	146	2136.4 (1966)	1940	1529.0
	西表島	3642.0	163	3634.5 (1998)	1954	2240.0
	宮古島	3768.0	182	3242.8 (1966)	1937	2076.0
2	与那国島	3439.5	148	4524.5 (1998)	1956	2323.0
	父島	1841.0	142	1875.0 (1989)	1968	1296.1
3	新庄	2421.5	121	2751.0 (2013)	1957	2005.6
	久米島	3091.0	138	3436.0 (1998)	1958	2243.5

年降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	高松	667.5	58	737.5 (1978)	1941	1150.1
2	松江	1300.0	73	1105.5 (1973)	1940	1791.9
3	西郷	1311.5	72	979.0 (1973)	1939	1816.4
	舞鶴	1435.5	74	1301.0 (1978)	1947	1941.2
	洲本	976.5	63	805.0 (1994)	1919	1559.9

年間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	神戸	2310.0	111	2263.7 (1942)	1897	2083.7
	大阪	2319.6	113	2299.5 (2013)	1890	2048.6
	佐世保	2173.9	113	2166.3 (1994)	1947	1922.9
2	室蘭	1923.9	111	2015.7 (2014)	1923	1728.1
	萩	1997.9	115	2009.3 (1994)	1949	1733.2
	福岡	2160.3	114	2178.1 (1994)	1896	1889.4
3	姫路	2228.1	110	2242.4 (1994)	1948	2034.4
	奈良	2043.1	112	2128.4 (1978)	1953	1821.1
	山口	2078.1	112	2243.8 (1994)	1966	1862.0

年間日照時間少ない方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最小 h (西暦年)	開始年	平年値 h
3	沖永良部	1689.3	91	1632.0 (2011)	1969	1861.6

(注) 値の横に] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。
平年値とは 1991～2020 年の 30 年間の値を平均したものである。

○本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月 15 日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfest/>

